

図画工作

【造形的な見方・考え方】

感性や想像力を働かせ、対象や事象を、形や色などの造形的な視点で捉え、自分のイメージをもちながら意味や価値をつくりだすこと。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善

図画工作 小学校

1 表現及び鑑賞の資質・能力を位置付けた指導計画

- ・児童が表現をしながら常に「B鑑賞」を通して育成する「思考力、判断力、表現力等」を働かせるようにします。
- ・自分たちの作品や親しみのある美術作品などを見たり、自分の見方や感じ方を深めたりするなど、鑑賞の活動や対象を幅広く捉え、児童がよさや美しさ、表現の意図などを自ら感じ取り味わうことができるようにします。

2 発想や構想、技能を連続させた学習過程の設定

- ・造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させます。
- ・互いの活動や作品を見合いながら考えたことを伝え合ったり、感じたことや思ったことを話したりする活動を位置付けます。
- ・育成を目指す資質・能力を明確にし、児童がつくっている途中で考えが変わってつくりかえたり、次々に試し、考えや方法を変えたりする「つくり、つくりかえ、つくる」という学習過程を設定します。

3 〔共通事項〕に配慮した指導計画

- ・表現及び鑑賞の各活動において〔共通事項〕に配慮した指導計画を作成します。
- ・「A表現」及び「B鑑賞」の指導を通して、児童が〔共通事項〕に示された「知識」と「思考力・判断力・表現力等」との関わりに気付くようにします。
- ・〔共通事項〕は、小学校図画工作科と中学校美術科において一貫して育成することに配慮し、指導計画を作成します。

美術 中学校

1 表現及び鑑賞の資質・能力を位置付けた指導計画

- ・表現と鑑賞の学習のねらいと双方に重なる資質・能力を明確にし、適切に指導計画に位置付けます。
- ・鑑賞の学習で作者の気持ちになって発想や構想を膨らませたり、制作手順をたどりながら表現方法に着目したりする視点を位置付けます。

2 互いの見方や感じ方、考えを交流する場面の設定

- ・造形的な見方・考え方を働かせ、表現及び鑑賞に関する資質・能力を相互に関連させます。
- ・自己との対話を深めることや、〔共通事項〕に示す事項を視点に、表現において発想や構想に対する意見を述べ合ったり、鑑賞において作品などに対する自分の価値意識をもって批評し合ったりする学習活動を位置付けます。
- ・互いの見方や感じ方、考えなどを交流させ、新しい見方に気付いたり、価値を生み出したりすることができるようにします。

3 〔共通事項〕を位置付けた指導計画

- ・造形的な視点を豊かにするために必要な知識として表現及び鑑賞の各活動に〔共通事項〕を適切に位置付け、指導計画を作成します。
- ・表現及び鑑賞の活動における造形的な視点として豊かに働くように、〔共通事項〕を明確に位置付けます。
- ・〔共通事項〕は、小学校図画工作科と中学校美術科において一貫して育成することに配慮し、指導計画を作成します。

指導の一層の充実に向けて

- ・「A表現」(1)の発想や構想に関する事項と(2)の技能に関する事項を独立したものとして扱うのではなく、関連付けて扱きましょう。
- ・「A表現」の指導において、児童が友人と共に活動することを楽しむ傾向を生かし、共同して製作する内容を取り入れましょう。
- ・「友人の作品の鑑賞を通して自分の作品のよさに気付く」「美術作品から考えたことを言葉にまとめる」など鑑賞する対象の違いに応じて指導計画を作成しましょう。